

（学年）第1学年、（教科・科目）理科

協働学習

（単元）生物のなかまわけのしかた

（本時のねらい）

いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点を基にして分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身に付ける。

（ICT活用方法）

分類の仕方を説明するために、電子黒板を用いて、なかまわけした生物の写真をうつし説明する。写真があるので特徴をとらえやすく、なかまわけした画像を映すのに時間がかからないので、観点や基準を考える時間が多くとれた。また、基準でなかまわけするとき、一人一台端末を使用することで、さまざまな生物の特徴について調べることができた。

（本時の展開）

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> 4種類の生物を教師がどのような観点や基準でなかまわけしたかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 4種類の生物をどのような観点や基準でなかまわけしたかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板にある観点と基準でなかまわけした4種類の生物の写真をうつす。
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> 班で20種類の生物の名前を出し合う。 20種類の生物を、観点を生活する場所とし、陸上、川、海という基準でなかまわけする。 20種類の生物について、班で観点と基準を考え、なかまわけする。 	<ul style="list-style-type: none"> 班ごとに20種類の生物の名前を付箋にかかせる。 ホワイトボードにまとめさせる。 観点が思いつかない班にはヒントカードを渡す。 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションソフトを用いて説明する。 生物の特徴が分からない場合は一人一台端末を用いて調べさせる。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「分類」について説明する。 	

（授業の様子）



（生徒の反応と課題、改善を要する点）

生徒たちは、はじめはクイズのような感覚でなかまわけを行っており、その後自分たちで観点や基準を考えることができたので、楽しそうに学習に取り組んでいた。特徴が分からない場合であっても、一人一台端末を使用することで自分で調べることができるので、調べながら分類することができていた。生徒たちは、班のなかまと協働して行き、さまざまな観点や基準でなかまわけができることを知ることができた。また、同じ観点で考えても、基準が違う場合もあり、さまざまな分類の仕方があることにも気付くことができた。ただ、20種類の生物を挙げる際に動物に偏りがちであったので、植物も挙げられるように声かけをしておくといよいと感じた。